



「30周年をむかえて」

私たちの学校であるこの中村南小学校が、今年30周年を迎えました。今日の記念式典に、このようにたくさんの方々が来て下さり、とてもうれしいです。ありがとうございます。



先日の朝会で、校長先生が、中村南小学校ができたわけについて話して下さいました。

この学校ができるまでは、この辺りの子どもは中村小学校に通っていたそうです。中村駅ができてから、駅前町や右山五月町の大通りにお店や家がどんどん増えてきて、それに合わせて、この近くから中村小学校に通う子どもも増え、中村の町にもう一つ小学校を建てることになったそうです。

一番多いころの中村小学校は、1,200人を超えていたそうで、今の私たちと比べると、5倍ぐらいの人数なので、びっくりしました。

今の南小は、北校舎、南校舎、体育館、プール、それに給食センターもあります。でも30年前に学校ができた時には、南校舎しかなかったそうです。それで、その時のPTAの方々や地域の方々が市役所や県庁に何度もお願いに行ってくださって、北校舎と体育館、プールなどが次々につくられたのだと校長先生が教えてくださいました。

たくさんの方々の願いや働きかけによってつくられたこの立派な中村南小学校をこれからも大切に使いましようとおっしゃっていました。

私は、この学校ができるまでに、PTAの方々や地域の方々にこんな苦労があったことを初めて知り、これから卒業するまでの約半年間、この学校を大切にしよう、と思いました。

私は、この中村南小学校で6年間学んできました。その中で最も心に残っているのは、鼓笛隊です。私は、5年生の時に鼓笛隊に入りました。入ったばかりのころは、校歌もうまく吹けませんでした。楽器はとても難しかったです。でも今は、最上級生になり、クラリネットのパートリーダーとしてがんばっています。運動会や地域安全パレード、人権パレードなど、たくさんの方の前でも、満足のできる演奏ができるようになりました。これも、先輩たちが大切に使い、残してくれたクラリネットやフルートなどの、たくさん楽器があるからできたことだと思います。

また、いつも私たちに熱心に指導して下さい先生がいるからできたのです。先生は、音楽の時間や鼓笛隊の指導をいつも一生懸命して下さいます。私たちが音楽祭やパレードで胸を張って歌ったり演奏したりできるのは、みんなのがんばりもある



けど、やっぱり先生のご指導のおかげだなと思います。

私たち児童会はいろいろなことに取り組んでいます。その中でも力を入れていることは「あいさつ運動」です。何年も前の先輩方からずっと続けてきた取り組みです。2年前までは、5、6年が中心にあいさつ運動をしていましたが、昨年の児童会役員が「全校児童へあいさつの輪を広げよう」と呼びかけ、1～4年生も朝のあいさつ運動に参加するようになりました。



あいさつを交わすと、自分も気持ちよくなるし、相手の心も明るくすることができます。そして、「今日も一日がんばろう。」という気持ちになります。あいさつをして元気な声が返ってきたらうれしいし、元気のない声だったら「何か嫌なことがあったのかな？」と気になります。この運動をすることで、みんなが明るくて仲が

よくて、行くのが毎日楽しみになるような中村南小学校になるといいなと思います。

このようにあいさつの大切さを私に教えてくれたのは、これまでの先輩たちのすがたです。私たちが低学年のころにお兄さん・お



姉さんたちが校門に立って「おはよう！」と声をかけてくれたことを、今でも覚えていています。だから、私たちのあいさつ運動も低学年の子たちの心に残ってくれたらうれしいです。

学校だけでなく、地域でもたくさんの方があいさつをしてくれます。私たちの登校時間に街頭指導に立って下さっているお父さんやお母さん、地域の方々が、私たちの安全を守りながら、いつもあいさつをしてくれています。近所の方も、まるで家族のように声をかけてくれます。南小をとりまくたくさんの方々が、みんなで私たちを見守ってくださっているんだなと感じます。

「あいさつ運動」は、友だち同士だけでなく、地域の方々との結び付きも強くすることができる大切なものなので、これからもみんなで続けていきましょう。

私たち南っ子は、これまでの先輩たちが残してくれた素晴らしい伝統をしっかりと受け継ぎ、新しいことも付け足しながら、また次の南っ子たちに残していかなければいけません。南小が、これから40周年、50周年と、ますますいい学校になっていくといいなと思います。

最後に、この中村南小学校30周年記念式典で、このようにたくさんの方々の前で意見発表ができましたことに、心から感謝します。

ありがとうございました。



地域からの依頼の「人権パレード」・
「安全パレード」に、毎年参加